学校環境衛生定期検査実施についての留意点

及び報告書作成・提出について

* 学校薬剤師が行う学校環境衛生定期検査は、富山市と富山市学校薬剤師会が契約を交わし実施する事業で、報酬が発生します。結果を学校及び市へ報告する義務があります。
* 検査終了後は校長・園長（不在なら教頭、教務主任）へ必ず口頭で簡単に報告、後日書面を提出してください。
* **報告書の内容が充実し、簡潔にまとめてあること**が必須と考えています。「特になし」「異常なし」は記載せず、かつ明瞭・端的にまとめてください。
* 学校提出報告書には正式名称で学校名を、校長名はフルネームで記載します。

**鉛筆は使わないでください**。

**・　検査票は今年度バージョンを使用してください＞**

* 報告書作成の質問等は**学校への提出前**に事務局（℡　420－5450：学薬担当 酒井）までご相談ください。
* **会への報告用Googleフォームは当会HPの会員専用ページに掲載**します。

会員専用ページ＞検査結果入力

* 検査票は当会HP上、次の3か所に掲載します。入りやすいところから入ってください。

「ツール集＞学校環境検査」

「ツール集＞書類いろいろ」

「会員専用ページ＞検査結果入力」

**＜充実し、わかりよい報告書記述のために＞**

* 検査結果が基準を外れたなど問題点があれば必ず書き、その改善策の提案も記載してください。
* 日頃の管理状況、昨年度より改善された事も書いてください。毎年同じことを記載するのではなく、少しずつ観点を変えて管理状況を調べ、端的で、明瞭に記載することが大切です。

＜検査のポイントと記述例＞

 ● …　問題点、改善が必要な点、指導助言に関しての記述例

 ◇ …　日頃の管理状況や改善された内容についての記述例

１　照度及び照明環境

教室の照明環境、眩しさチェック、照明や窓、ドアのレイアウト記入をしましょう。測定値だけではなく、照明環境が判れば指導助言がしやすくなります。

◇ 机上、黒板面共に500ルクスを超え良い照明環境。

● 晴天時は3000ルクス近くあり、基準は満たすものの明るすぎる。カーテンをこまめに引いて調節を。

● タブレット使用時に光が写り込んで画面がよく見えない。使用する角度を指導することと、カーテンをこまめに引くよう指導した。

● 特別教室を普通教室に転用したためか、暗い。スタンドの使用を提案する。

◇ 感染拡大予防のため教室後部まで机を配置され、最後列が基準以下照度であったが、増灯により良い照度環境となった。

２　教室等の空気

・　判定には測定最終ポイントの数値を使用します。

・　教室の配置、換気システム、窓の開閉状況について、もれなくチェックしてください。

・　窓をよく開けている教室と、そうではない教室とのデータを比較して指導助言するのも一つです。例えば授業の開始後30分と残り20分は隣同士の教室で測定すると、その学校の換気傾向と対策がよくわかります。時間があればやってみてください。

・　R4年度後期の環境検査実施時の状況と比較してみることも重要です。

◇ 休み時間中に教室と廊下の窓を開けて換気がしっかりできている。

● エアコン稼働中のため窓開け換気が不十分で、授業終了時間にＣＯ２濃度が1500ppmを超えた。休み時間ごとに窓を全開にして空気を入れ替えること。

●　　　　グラウンド側の窓を常時10㎝開。エアコン稼働中にも関わらず、体感的に暑い。測定結果も基準を上回った。CO2濃度は基準を満たした。効率よい換気のため季節に合わせた窓開け、サーキュレーター、エアコンの使用が必要。

● 気流は基準を満たしているが、教室内で差があるように感じた。エアコンのルーバーの向きなど調整して様子を見ること。